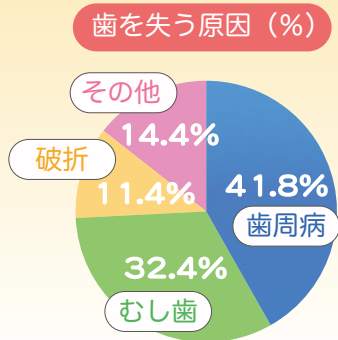


歯周病の症状と全身への影響

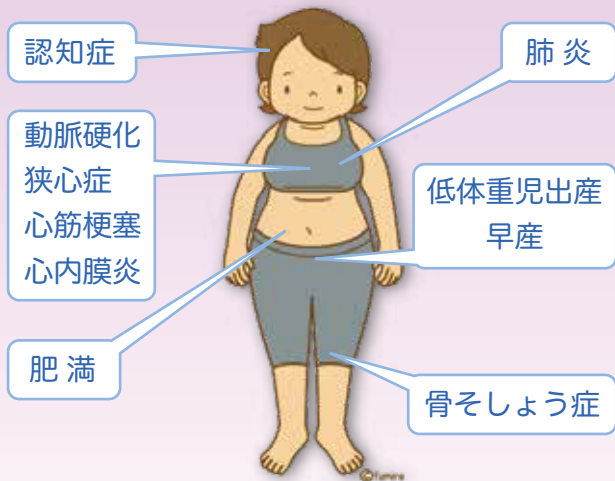
歯周病は日本の国民病ともいわれ、成人の約80%がかかっているとも言われます。歯周病は進行しても自覚症状が現れにくく、現れたときにはかなり進行しているケースも少なくありません。

< 歯周病の症状 >

歯茎から血が出る
歯茎が腫れる
歯がぐらつく
口臭がひどい
など



歯周病は糖尿病以外にも次のような疾患に影響することが分かっています。



歯がグラグラしたら食事もおいしくできないし、口臭が気になれば人と楽しく会話もできない、そんなのいやですよね！

歯周病の治療のながれは？

- 1 プラークコントロール（歯垢を落とすこと）を徹底して、歯周病菌を口の中から減らします
- 2 スケーリング（歯石を取ること）を行い、蓄積した汚れを落とします
- 3 歯周外科治療（重度の場合）で、改善が必要な場合もあります
- 4 メンテナンスでお口の健康状態を維持します

定期健診を受けましょう

糖尿病の可能性のある方は内科や糖尿病専門医で健診や治療を受けましょう。

歯周病の可能性のある方は歯科医院で健診や治療を受けましょう。

健康のためには予防、早期発見、早期治療が大切です。



一般社団法人

大分県歯科医師会

〒870-0819 大分県大分市王子新町6番1号

Tel 097-545-3151

Fax 097-545-3155

E-mail okensi@oda8020.jp

URL <http://www.oita-dental-a.or.jp>

糖尿病 と 歯周病



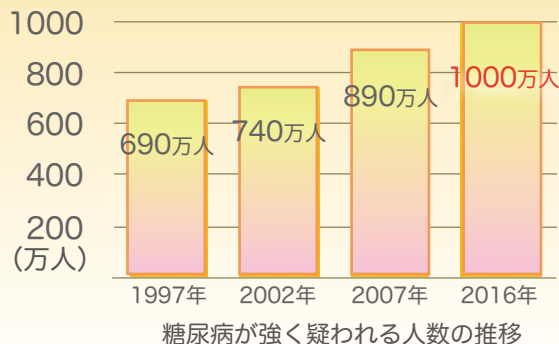
成人の生活習慣病と言われる
糖尿病と歯周病、この二つには驚くべき関係があるのです

大分県歯科医師会

知っておきたい糖尿病と歯周病の関係

増え続けている糖尿病患者

メタボの人は糖尿病になる確率が通常の5倍になると言われています。糖尿病は食生活や運動習慣の改善などが必要ですが、同じく生活習慣病と言われている歯周病との深い関係が明らかになってきました。



糖尿病が歯周病に及ぼす影響

糖尿病の影響で歯周病が悪化することが分かっています。

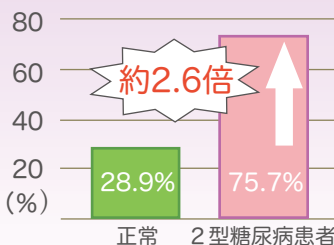
糖尿病



歯周病悪化

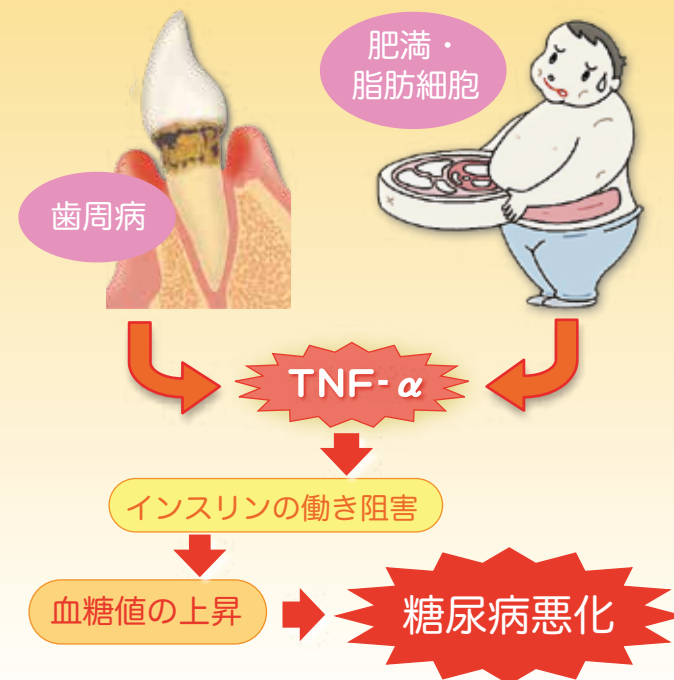


- 免疫機能の低下
- 創傷治癒の障害
- 血液循環の不良
- 唾液の減少



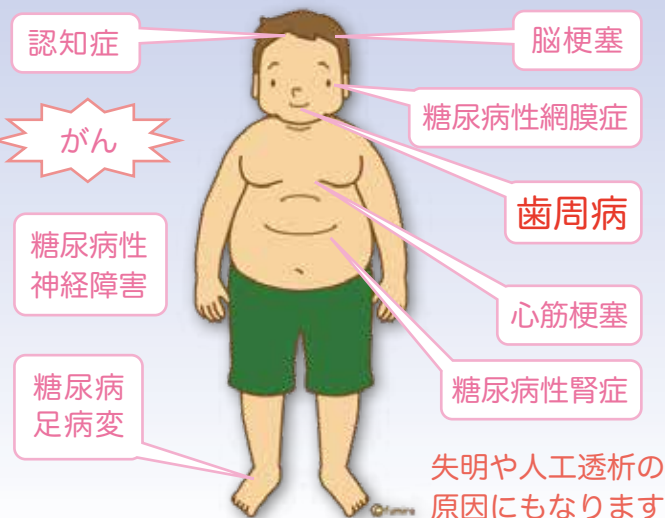
歯周病の新規発症率は2型糖尿病の場合、正常な人の約2.6倍にもなります。

問題のタンパク質 TNF- α



糖尿病の合併症

糖尿病は全身に大きな問題を引き起こします



歯周病も糖尿病に影響します

人の身体で血糖値を調整しているのは膵臓（すいぞう）で作られるインスリンです。インスリンの働きに問題が生じると高血糖になり、結果として糖尿病になってしまいます。

肥満者の内臓脂肪には、インスリンの働きを悪くしてしまう、つまり糖尿病の状態を悪化させてしまうTNF- α といわれるタンパク質が多く存在します。

TNF- α は歯周病菌によって作られる内毒素（LPS）が原因で作り出されることも分かってきました。結果的に歯周病が重症化すると血糖値の上昇につながってしまうのです。

双方の治療でお互いを改善できます

最近ではいくつもの研究データで、歯周病の治療をして歯周病が改善した人たちは糖尿病の状態も改善された、と報告されています。（HbA1c：糖尿病の指標が0.65下がるという報告があります）

歯がなくなる歯周病、健康寿命を縮める糖尿病、双方を治すことでお互いが改善する可能性があるのですから、健康維持のために予防・治療に取り組んでみませんか？

